

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー

2024 年 7 月

vol.48

Contents

理事長挨拶	理事長 吉見直人	...	2
職員紹介		...	3
事業所トピックス		...	4
令和5年度 苦情受付状況		...	7
資金収支計算書		...	8
事業活動計算書		...	9
貸借対照表		...	10
会計監査人監査報告書		...	11
「えるぼし」に認定		...	12

ごあいさつ

理事長 吉見直人

令和6年度も3か月を経過しました。アジサイが色づき始め、雨の風情をきれいに彩ってくれていますが、近年、日本中のあらゆるところで大雨豪雨といった自然災害の起こる可能性が指摘されており、温暖化の影響を顕著に感じます。大きな被害がないことを祈るばかりです。法人内の事業所では事業継続計画（BCP）を作成しており、6月14日には雨の影響を大きく受ける可能性のある事業所を中心に大規模な避難訓練を実施したところです。災害時の避難には細心の注意を払い、ご利用者の安全確保に努めてまいります。

さて、令和5年度決算の概況をここにご報告申し上げます。令和5年度の事業推進により、「事業活動収入」は、前年度決算に比べ26,667,663円増加の3,454,856,930円となりました（内部取引消去後）。事業種別により、収入の増減はありますが、法人全体の収入は増えている状況です。財務諸表と監査人の報告を添付していますのでご確認ください。ホームページにも情報公開をさせていただいています。

一方で、事業推進を担う職員の確保については困難を極めています。と同時に、ご利用者の確保に苦慮する事業所が増えてまいりました。入所系施設を中心として、職員不足を背景にご利用者の受入れが進まず、利用定員を下回る施設が多くなりつつあります。

特に障害施設においては、ご利用者の高齢化の進展とともに医療的なケアが必要になり、医療機関へ長期入院をされるケースが増えています。現在満床で運営できている事業所においても5年先には同じような課題に直面することが予測されます。また、丹波市及び福知山市の人口減少はこの先も今以上に加速していくことを想定すると、定員を維持し続けることは更に困難さを増していきます。この課題を打開するためには、職員の処遇改善、ICT技術の活用、外国人労働者の積極的な受け入れなどの人材確保策を推進するほか、入所施設及び相談事業所の機能強化が必要となります。

重い障害のある方とそのご家族を支える施設機能と、ライフステージに応じた切れ目のない相談機能を連携させ強化することで、法人の有する福祉力を最大限に発揮し、今後の人口減少社会における地域福祉のセーフティネットとしての責務を果たすことができるのではないかと考えます。

福祉現場にとっては今後ますます厳しい社会情勢が続くと予想されますが、引き続き法人の総力を挙げて重点施策に取り組み、地域福祉の推進に向けて努力してまいります。皆様方におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新人紹介

長井 勇人(ながい ゆうと) | みつみ学苑

以前は居宅事業に従事しておりましたが、縁あってみつみ学苑の生活支援員として働かせていただいています。以前とは視点、関わり方も変化しており日々勉強になっています。これからもご利用者のためそして自身の成長のため従事していきたいと思っています。よろしくお願いします。



荻野 美優(おぎの みゆう) | みつみ学苑

入所施設での勤務は初めてで分からないことも多くありますが、先輩職員の支援方法を手本にご利用者に寄り添った支援ができるように心がけています。日々、ご利用者とコミュニケーションをとる中でその方の知らなかった部分が知れる度、嬉しく思います。常にご利用者の話に耳を傾け寄り添った支援ができるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

中村優美奈(なかむら ゆみな) | わかばこども園

日々子どもたちと関わる中で、できなかったことができるようになったり子どもたちの成長を側で実感し見守らせていただくことにやりがいを感じています。契約職員として昨年から勤めさせていただいており、あっという間に1年3ヶ月が経ちましたが、まだまだ分からないことも多いので、先輩職員の方々にご指導いただきながら1つひとつ丁寧に取り組み、経験を積み重ねていく中で子どもたちと一緒に自分自身も成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。



石井 好香(いしい このか) | 特養三愛荘

福祉に関する知識が無く、分からない事が多かったですが、先輩方に教えていただき、少しずつ仕事を覚えてきました。支えて下さっている先輩方の感謝を忘れず、頑張っていきます。よろしくお願いします。



達脇 茉胡(たつわき まこ) | 特養三愛荘

仕事内容はもちろんのこと、ご利用者様の名前など覚えることが沢山ありますが、1つひとつのことをきっちりとこなし、少しずつできることを増やしていきたいと思っています。先輩職員にしっかりと教わり、ご利用者様に、より良い支援が出来るよう、沢山の経験を積んで頑張りたいと思います。

通山 朋椰(とおりやま ともや) | 特養三愛荘

介護は初めての職種ですが、介護に対する知識・技術を身に付けて、しっかりと貢献できるように努めます。よろしくお願いします。



どうぞよろしく
お願いします

各施設のトピックス

ききょうの杜

5月26日(日) 丹波自然運動公園において、京都府主催の障害者ふれあい広場に参加いたしました。ききょうの杜からはご利用者10名が参加され、いくつかの競技を楽しめました。また販売コーナーではききょうの杜就労継続支援B型の自主製品であるクッキーを販売いたしました。当日は雲ひとつない晴天に恵まれ、5月とは思えない暑さでした。熱中症にも気を付けながらの参加になりましたが、広いグラウンドでのびのびといい汗を流されました。



特別養護老人ホーム おがわの里

開設から10年を迎えることとなりました！

日頃の感謝の気持ちを込めて開設10年となる6月1日に記念行事を開催しました。当日は、丹波市出身のシンガーソングライター「足立大地氏」をお招きし、ご家族様、地域の方と一緒にスペシャルライブを楽しんで頂きました。ライブでは懐かしい歌のカバーが多く、ご利用者の皆様は手拍子をされながら楽しまれていました。

ケアハウスとだ

5月下旬から6月上旬にかけ、綾部バラ園に出かけました。いずれの日も天候に恵まれ青空のもと、種類豊富に咲き誇っているバラを觀賞しました。ちょうど見ごろであり、ピンクや白、赤などきれいなバラを見て楽しめました。



みつみ学苑

ご利用者の希望により、映画を観に行きました。道中の車内でも映画の話で大盛り上がり。迫力のある映画の後は余韻も冷めない中、広場のベンチで昼食をとりました。「映画にいきましょう！」と決めた日からご利用者の皆さんはそれぞれ生活面での目標を立てて過ごされていました。メリハリのある生活、またご利用者の思いに寄り添った支援に繋がったこの機会を大切に、今後も楽しい計画や外出を実施していきたいと思ひます。



サポートハウスけいあい

『春のお食事会』 2024.04.14

桜の花はソメイヨシノから八重桜へとかわっていく中、春のお弁当と桜茶で、季節を感じ、皆様方とのひと時を楽しみました。



『音楽療法』 毎月第3火曜日

今年度から、春日学園の音楽療法士、有田職員にお世話になれる事となりました。

暮らしの中の楽しみが1つ増えました。



京都サポートセンター

しんあいでは日中活動の一環としてクワガタの育成販売を行っております。今年は例年にない大きさのクワガタも生まれ、皆、喜んでおります。オンライン販売も行っており北海道から沖縄まで幅広くご利用いただいております。

また、6月には福知山市で開催されたふれあい大運動会にも参加し、少しずつコロナ禍から日常に戻りつつあります。



認定こども園みつみ

6月初旬に「残飯を栄養のある土に変身させる魔法の箱」がこども園に届きました。この箱を届けてくださった方から、この箱の名前は「キエたん」であることや、ゴミを減らすことの大切さを学びました。今は園児と職員で、毎日の給食を作る際に出る野菜くずをこのキエたんに入れていきます。時々箱の中を覗いてみると、一週間ほどで入れたはずの野菜が消えて

土に変身していて、子どもたちはこの現象に、「ふしぎやな」「まほうみたい」と、とても興味を持って取り組んでいます。野菜が消えて栄養を含んだ土は、こども園の菜園で育てている野菜や花壇の肥料として還元しています。栄養たっぷりの土で育った野菜が収穫出来たらクッキング保育や給食の献立で使用し、みんなで感謝していただきたいと思います。



特養三愛荘

5月27日、スイーツバイキングを行いました。ミニケーキやフルーチェ、果物の盛り合わせなどのスイーツと、飲み物も数種類準備し、ご利用者を選んで頂きました。いつもの食事やおやつとの時間と違った雰囲気の中、甘いものを召し上がられ、終始笑顔のご利用者もいらっしゃり、大変好評でした。



養護三愛荘

庵我小学校交流会で5年生の児童と折り紙や、ジェスチャーゲーム、ビンゴゲームをして楽しみました。

また、民生委員の方々と花の植え替えをしまし、たくさんの綺麗な花を植える作業ができ、とても喜ばれていました。徐々に新型コロナウイルスによる制限を緩和し地域との交流を再開しております。



三愛荘デイサービス

デイサービスでは、毎月1週間、手作りおやつウィークを開催しております。

今年度の手作りおやつでは五平餅やドーナツをご利用者と職員が一緒に作らせて頂き、召し上がって頂いております。どちらも大好評でした。皆様、「美味しいわ。」と仰って頂き、「家に帰って作ってみよ。」と言われ、レシピを持ち帰られるご利用者もたくさんおられました。毎月、楽しみにされている行事の1つです。



わかばこども園

今年はたくさんの学生がわかばこども園へ教育・保育の実習に取り組みに来られています。子ども達は実習生と触れ合い、楽しんでいる様子がみられます。学生の皆さん、実習期間中はたくさん子ども達とふれあい、一緒に楽しみ、色んなことに挑戦してください。わかばこども園での実習経験が未来の保育教諭としての糧となりますように。応援しています。

春日学園

強度行動障害、自閉症のご利用者支援の取り組み

強度行動障害、自閉症のご利用者支援について、コンサルテーションを受講し、施設全体の構造化、視覚支援を行ない、ご利用者がより過ごしやすい環境づくりを心掛けています。ご利用者がタブレットを使用する時間や、歯磨きの手順を視覚的に伝えるボードなどで、ご利用者がよくわかるように支援しています。



兵庫サポートセンター

生活介護事業所あおぞらは2年目を迎えました。今年度は季節行事や音楽療法、スポーツなど余暇活動にも積極的に取り組み、ご利用者から「毎日行きたい」「楽しい」と評価いただける事業所を目指して、より一層のサービスの充実を図ってまいりたいと思います。



令和5年度 苦情受付状況

令和5年度中に各事業所で受け付けた苦情などについて記載の通りとなりました。いずれのケースも状況をお尋ねして、対応について振返りを行い、業務の改善につながるように心がけました。

種 別	件数	苦情の内容
高齢者支援サービス	1	ご家族への状況説明の不備
障害児・者支援サービス	1	ご家族への状況説明の不備
	1	ご利用者間のトラブル
保育支援サービス	1	保育内容について

内 訳

令和5年度 まとめ	
ご利用者からの苦情	1 件
ご家族からの苦情	3 件
合 計	4 件

令和5年度 事故報告

内 訳

令和5年度 事故報告まとめ	
障害関係事業所	25 件
高齢関係事業所	17 件
児童関係事業所	3 件
合 計	45 件
ご利用者の事故	34 件
職員の事故	9 件
その他の事故	2 件
合 計	45 件
事故の内訳	
転倒・転落等による骨折事故	26 件
誤嚥による窒息事故	1 件
公用車・私用車による事故	4 件
その他の事故	14 件
合 計	45 件

資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	[770,408,000]	[774,962,942]	[△ 4,554,942]	
	老人福祉事業収入	[299,423,000]	[322,227,561]	[△ 22,804,561]	
	児童福祉事業収入	[58,420,000]	[76,030,270]	[△ 17,610,270]	
	保育事業収入	[361,010,000]	[370,845,788]	[△ 9,835,788]	
	就労支援事業収入	[45,678,000]	[51,720,622]	[△ 6,042,622]	
	障害福祉サービス等事業収入	[1,784,046,000]	[1,793,054,460]	[△ 9,008,460]	
	運営事業収入	[43,722,000]	[46,902,464]	[△ 3,180,464]	
	借入金利息補助金収入	[2,236,000]	[2,237,622]	[△ 1,622]	
	経常経費寄附金収入	[5,676,000]	[6,035,200]	[△ 359,200]	
	受取利息配当金収入	[1,000]	[5,432]	[△ 4,432]	
	その他の収入	[9,918,000]	[10,834,569]	[△ 916,569]	
	事業活動収入計 (1)	3,380,538,000	3,454,856,930	△ 74,318,930	
	支出				
	人件費支出	[2,273,894,000]	[2,242,961,246]	[30,932,754]	
	事業費支出	[475,906,000]	[444,176,773]	[31,729,227]	
	事務費支出	[306,949,000]	[293,426,465]	[13,522,535]	
	就労支援事業支出	[68,241,000]	[67,904,086]	[336,914]	
	利用者負担軽減額	[1,240,000]	[913,068]	[326,932]	
	支払利息支出	[7,929,000]	[7,737,711]	[191,289]	
	その他の支出	[4,427,000]	[4,091,447]	[335,553]	
	事業活動支出計 (2)	3,138,586,000	3,061,210,796	77,375,204	
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	241,952,000	393,646,134	△ 151,694,134	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	[7,897,000]	[6,596,420]	[1,300,580]	
	固定資産売却収入	[1,600,000]	[1,650,000]	[△ 50,000]	
	施設設備等収入計 (4)	9,497,000	8,246,420	1,250,580	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	[91,872,000]	[90,376,000]	[1,496,000]	
	固定資産取得支出	[55,247,000]	[51,578,589]	[3,668,411]	
	固定資産除却・廃棄支出	[868,000]	[13,200]	[854,800]	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[23,292,000]	[21,277,998]	[2,014,002]	
	施設整備等支出計 (5)	171,279,000	163,245,787	8,033,213	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 161,782,000	△ 154,999,367	△ 6,782,633	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	[20,076,000]	[20,993,162]	[△ 917,162]	
	その他の活動による収入	[0]	[372,667]	[△ 372,667]	
	その他の活動収入計 (7)	20,076,000	21,365,829	△ 1,289,829	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	[7,737,000]	[4,158,000]	[3,579,000]	
	積立資産支出	[193,605,000]	[291,208,725]	[△ 97,603,725]	
	その他の活動による支出	[0]	[791,667]	[△ 791,667]	
	その他の活動支出計 (8)	201,342,000	296,158,392	△ 94,816,392	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 181,266,000	△ 274,792,563	93,526,563	
予備費支出 (10)		[12,930,000]	-----	[12,930,000]	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 114,026,000	△ 36,145,796	△ 77,880,204	
前期末支払資金残高 (12)		[1,023,298,443]	[1,023,298,443]	[0]	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		909,272,443	987,152,647	△ 77,880,204	

事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収入			
	介護保険事業収益	[774,962,942]	[733,722,042]	[41,240,900]
	老人福祉事業収益	[322,227,561]	[319,017,026]	[3,210,535]
	児童福祉事業収益	[76,030,270]	[59,443,827]	[16,586,443]
	保育事業収益	[370,845,788]	[360,308,070]	[10,537,718]
	就労支援事業収益	[51,720,622]	[55,729,616]	[△ 4,008,994]
	障害福祉サービス等事業収益	[1,793,054,460]	[1,825,953,652]	[△ 32,899,192]
	運営事業収益	[46,902,464]	[48,573,161]	[△ 1,670,697]
	経常経費寄附金収益	[6,035,200]	[10,198,920]	[△ 4,163,720]
	その他の収益	[0]	[112,024]	[△ 112,024]
	サービス活動収益計 (1)	3,441,779,307	3,413,058,338	28,720,969
	費用			
	人件費	[2,252,314,118]	[2,237,330,378]	[14,983,740]
	事業費	[443,506,773]	[465,436,676]	[△ 21,929,903]
	事務費	[293,426,465]	[317,698,106]	[△ 24,271,641]
	就労支援事業費用	[67,934,794]	[53,542,380]	[14,392,414]
	利用者負担軽減額	[913,068]	[1,247,247]	[△ 334,179]
	減価償却費	[327,341,455]	[344,976,358]	[△ 17,634,903]
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 130,817,266]	[△ 141,570,154]	[10,752,888]
	サービス活動費用計 (2)	3,254,619,407	3,278,660,991	△ 24,041,584
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		187,159,900	134,397,347	52,762,553
サービス活動外増減の部	収入			
	借入金利息補助金収益	[2,237,622]	[2,803,712]	[△ 566,090]
	受取利息配当金収益	[5,432]	[6,653]	[△ 1,221]
	その他のサービス活動外収益	[12,733,632]	[15,147,170]	[△ 2,413,538]
	サービス活動外収益計 (4)	14,976,686	17,957,535	△ 2,980,849
	支出			
	支払利息	[7,737,711]	[9,055,602]	[△ 1,317,891]
	その他のサービス活動外費用	[5,772,392]	[8,617,377]	[△ 2,844,985]
	サービス活動外費用計 (5)	13,510,103	17,672,979	△ 4,162,876
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)		1,466,583	284,556	1,182,027
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		188,626,483	134,681,903	53,944,580
特別増減の部	収益			
	施設設備等補助金収益	[6,596,420]	[8,804,560]	[△ 2,208,140]
	固定資産売却益	[782,928]	[0]	[782,928]
	特別収益計 (8)	7,379,348	8,804,560	△ 1,425,212
	費用			
	固定資産売却損・処分損	[13,234]	[870,011]	[△ 856,777]
特別増減の部	国庫補助金等特別積立金積立額	[6,596,420]	[8,804,560]	[△ 2,208,140]
	特別費用計 (9)	6,609,654	9,674,571	△ 3,064,917
特別増減差額 (10) = (8) - (9)		769,694	△ 870,011	1,639,705
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		189,396,177	133,811,892	55,584,285
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	[1,684,345,366]	[1,654,737,563]	[29,607,803]
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	1,873,741,543	1,788,549,455	85,192,088
	基本金取崩額 (14)	[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額 (15)	[8,756,090]	[69,650,911]	[△ 60,894,821]
	その他の積立金積立額 (16)	276,200,000	173,855,000	102,345,000
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,606,297,633	1,684,345,366	△ 78,047,733

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目		当年度末	前年度末	増減
資産の部	流動資産	1,196,556,081	1,184,225,317	12,330,764
	現金預金	705,259,104	691,152,917	14,106,187
	事業未収金	433,290,529	423,911,408	9,379,121
	未収金	458,050	605,232	△ 147,182
	未収補助金	30,579,710	33,637,653	△ 3,057,943
	商品・製品	130,919	181,527	△ 50,608
	原材料	802,647	717,901	84,746
	立替金	1,119,626	2,100,858	△ 981,232
	前払費用	24,915,496	31,917,821	△ 7,002,325
	固定資産	5,824,582,452	5,830,891,887	△ 6,309,435
	基本財産	3,199,064,161	3,412,178,002	△ 213,113,841
	土地	303,804,423	303,804,423	0
	建物	2,895,259,738	3,108,373,579	△ 213,113,841
	その他の固定資産	2,625,518,291	2,418,713,885	206,804,406
	土地	10,765,322	10,765,322	0
	建物	43,044,967	47,290,224	△ 4,245,257
	構築物	64,057,391	76,282,388	△ 12,224,997
	車両運搬具	15,778,581	20,497,476	△ 4,718,895
	器具及び備品	129,612,950	143,859,348	△ 14,246,398
	有形リース資産	62,879,684	78,340,814	△ 15,461,130
	権利	72,544,803	75,853,787	△ 3,308,984
	ソフトウェア	13,489,712	17,308,612	△ 3,818,900
	無形リース資産	3,723,002	9,487,418	△ 5,764,416
	投資有価証券	165,000	165,000	0
	退職給付引当資産	115,239,247	111,670,774	3,568,473
	長期預り金積立資産	4,697,500	5,116,500	△ 419,000
	施設整備積立資産	2,044,907,519	1,781,463,609	263,443,910
	災害対策積立資産	39,726,613	35,726,613	4,000,000
	差入保証金	4,886,000	4,886,000	0
	資産の部 合計	7,021,138,533	7,015,117,204	6,021,329
負債の部	流動負債	385,610,090	332,824,425	52,785,665
	事業未払金	69,116,930	58,870,651	10,246,279
	1年以内返済予定設備資金借入金	93,364,000	91,870,000	1,494,000
	1年以内返済予定長期運営資金借入金	11,314,000	4,536,000	6,778,000
	1年以内返済予定リース債務	17,376,011	21,475,108	△ 4,099,097
	未払費用	110,549,012	82,601,380	27,947,632
	預り金	3,322,196	7,447,574	△ 4,125,378
	職員預り金	24,471,470	10,072,496	14,398,974
	前受収益	1,010,260	1,035,345	△ 25,085
	賞与引当金	55,086,211	54,915,871	170,340
	固定負債	749,545,207	861,484,874	△ 111,939,667
	設備資金借入金	509,881,000	601,751,000	△ 91,870,000
	長期運営資金借入金	36,204,000	47,140,000	△ 10,936,000
	リース債務	49,394,093	66,899,014	△ 17,504,921
	退職給付引当金	149,368,614	140,578,360	8,790,254
	長期預り金	4,697,500	5,116,500	△ 419,000
	負債の部 合計	1,135,155,297	1,194,309,299	△ 59,154,002
純資産の部	基本金	571,724,796	571,724,796	0
	国庫補助金等特別積立金	1,623,326,675	1,747,547,521	△ 124,220,846
	その他の積立金	2,084,634,132	1,817,190,222	267,443,910
	施設整備積立金	2,044,907,519	1,781,463,609	263,443,910
	災害対策積立金	39,726,316	35,726,613	4,000,000
	次期繰越活動増減差額	1,606,297,633	1,684,345,366	△ 78,047,733
	(うち当期活動増減差額)	189,396,177	133,811,892	55,584,285
純資産の部 合計		5,885,983,236	5,820,807,905	65,175,331
負債及び純資産の部合計		7,021,138,533	7,015,117,204	6,021,329

独立監査人の監査報告書

令和 6 年 6 月 10 日

社会福祉法人 みつみ福祉会
理 事 会 御 中

公 認 会 計 士 前 原 啓 二 事 務 所
兵庫県神戸市
公認会計士 前原 啓二

<計算関係書類監査>

監査意見

私たちは、社会福祉法第 45 条の 28 第 2 項第 1 号及び社会福祉法施行規則第 2 条の 30 第 1 項の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの令和 5 年度の計算関係書類（社会福祉法人会計基準第 7 条の 2 第 1 項第 1 号イに規定する法人単位貸借対照表、同項第 2 号イ（1）に規定する法人単位資金収支計算書、同号ロ（1）に規定する法人単位事業活動計算書及び社会福祉法人会計基準第 29 条第 1 項に規定する法人全体についての計算書類に対する注記並びにそれらに対応する附属明細書（社会福祉法人会計基準第 30 条第 1 項第 1 号から第 3 号まで及び第 6 号並びに第 7 号に規定する書類に限る。）の項目をいう。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書、計算関係書類のうち監査

意見の対象とされていない部分並びに、財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの計算関係書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算関係書類監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算関係書類又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持し

て以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、社会福祉法第 45 条の 19 第 2 項及び社会福祉法施行規則第 2 条の 22 の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和 6 年 3 月 31 日現在の令和 5 年度の財産目録（社会福祉法人会計基準第 7 条の 2 第 1 項第 1 号イに規定する法人単位貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠するとともに、法人単位貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

女性活躍「えるぼし」に採用や勤続年数など評価 雇用環境整備の「みつみ福祉会」

兵庫・丹波市（丹波新聞）
- Yahoo!ニュース

（左）吉見理事長
（右）柳川瀬広報担当



女性活躍推進法 認定マーク「えるぼし」

える（L）

…Lady（女性）・Labour（働く、取り組む）Lead（手本）などの意味。企業や会社で活躍し、星のように輝く女性へのエールの意味などを込めて「えるぼし」となりました（厚生労働省より）

女性活躍推進法に基づき雇用環境などの整備計画を定め、その実施状況が優良であるとして、社会福祉法人「みつみ福祉会」（本部・兵庫県丹波市春日町野村、吉見直人理事長）が、厚生労働省の制度「えるぼし」に認定されました。女性の正規職員の採用数や、平均継続勤務年数が長いことなど、職場における女性活躍の実績を一定要件、満たしたことが認められました。

吉見理事長は「今後も試行錯誤しながら、女性も男性も全ての職員が共に輝ける職場を目指したい」と決意を述べました。丹波地域の社会福祉法人では初の認定となります。

「えるぼし」認定申請担当者の安達奈緒さんから、昨今の人材難は深刻です。すべての職員が家庭と仕事のバランスを取り、やりがいを持って仕事に励める環境を整える必要があります。試行錯誤を繰り返しながら、女性も男性も共に輝ける職場を目指したい、とコメントをいただきました。

今回は
みつみ学苑
福西栄養士



みつみ福祉会 事業所の栄養士によるレシピ紹介

『豚肉の梅じそ焼き』一人分

材料 豚肉（しょうが焼き用）80g

・梅じょうゆ
〔梅肉大さじ1/4
マヨネーズ大さじ1/2
はちみつ大さじ1/4
醤油大さじ1/4〕

小麦粉、油

サラダ菜
トマト

作り方

- ① 豚肉に小麦粉を薄くまぶしておく。
- ② 青じそはせん切りにする。
- ③ 梅じょうゆの材料を順によく混ぜる。
- ④ フライパンに油少々を熱し、豚肉を揚げ入れて中火で両面を焼き、こんがり焼き色がついたらとり出す。
- ⑤ フライパンの油をふきとり、豚肉を戻して少し火を弱め、梅じょうゆをまわし入れてからめる。最後に青じそを散らしてひと混ぜする。
- ⑥ 器に盛り、サラダ菜とトマトを添え出来上がり



あとがき

6月の中旬に大雨想定による避難訓練を実施しました。訓練で気づいた課題や改善点について事業所の職員で検討を行い、マニュアルの更新に繋げております。これからの季節は大雨や台風など、自然災害の発生が高まる時期でもあります。もし災害が発生してしまっても被害が最小限に食い止められるよう日々の訓練を活用していきたいです。

わかば 井上

みつみ福祉会情報誌 2024.7月発行

フォーミー・トゥーミー vol.48

発行所：社会福祉法人 みつみ福祉会

発行人：吉見 直人

〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地

TEL 0795-75-0314 FAX 0795-75-1694

URL <http://www.mitsumi.or.jp>



掲載した写真等は、個人情報保護法により、ご本人、ご家族のご理解の上使用しております。